

やすうら



若くてパワフル!! 地域の盛上げ隊!!

梶原愛美さん（右から二人目）とスタッフの皆さん

昨年4月、呉市安浦会館の館長に就任した内海在住の梶原愛美さん（35歳）は、スタッフ2名と共に切り絵教室などの運営や、季節毎にイベントを立上げ安浦町を元気にしたいと頑張っています。

特にイベントについては、町主催の夏祭りがなくなったことから、地域住民が交流できる場の『ワクワク夏祭り』を計画しました。まず実行委員会をつくり、自治会・子ども会などと協力して手作り感あふれる祭りを目標とし、内容は食べ物やゲームの屋台、お化け屋敷・スタンプラリー・お楽しみ抽選会などで盛況な祭りとなりました。

会館では、平日17時まで子ども達が自由に集まれる「子ども広場」の提供や、色々な教室も定期的に行っているの、一度見に来て下さい。また利用者さんも当初年間800人程度でしたが、皆さんのおかげで4倍に増えました。今後も利用者がさらに増える様スタッフ共々頑張りますので、気軽に来て下さいね!!



問合せ先 呉市安浦会館
・呉市安浦町内海南4丁目6-21
・TEL 0823-84-2579



平岡さんと山本さん

安浦の船の修理屋さん。

船の修理全般・遊漁船

アスターマリン(平岡) 080-6307-7132

浜で船を修理している平岡伸後さん（54才）と娘婿の山本直樹さん（22才）。平岡さんは20年程前、趣味の釣り好きが高じて船の修理を手掛けるようになりました。修理は、大工仕事から機械・エンジンなど多岐にわたり手間がかかります。でも、以前勤めていた会社でそういった仕事をしていた平岡さんにはお手のものでした。

腕前は口コミで広がり安浦の漁業関係者から頼られる存在に。山本さんは、平岡さんの「やってみるか？」の一言でこの世界へ最近入った新人さん。「覚えることが多くて大変、でもできることが増えてくると嬉しい。」と山本さん。これからは二人三脚で、海の仕事を元気にしてくれることでしょう。



木造船を修理中の二人

地域おこし協力隊員を募集!

平成30年度から安浦町で活動する地域おこし協力隊を募集しました。それに伴い、町の有志が1月21日(日)に東京ビックサイトで行われた『JOIN 移住・交流&地域おこしフェア』に参加。

このイベントでは地域おこし協力隊になりたいという方々と直接お話をし、安浦町をアピールしていきました。来年度、安浦町を盛り上げてくれる方に来てもらえるといいですね。

#せとうちskip 地元の観光スポット・お店の紹介

呉広域商工会では、安浦町を含む川尻町・下蒲刈町・蒲刈町・豊浜町・豊町・音戸町・倉橋町の観光スポットやお店を紹介するホームページを作成しました。

地元の私たちも知らないスポットや美味しいお店も掲載されていますので、一度パソコンやスマホから『せとうちskip』とアクセスしてくださいね。

#せとうちskip



せとうちskip



まちづくり情報誌

た ん と

TANTO

No.34

発行 平成30年3月10日

安浦町まちづくり協議会 〒737-2516 呉市安浦町中央4丁目3-2(呉市役所安浦市民センター内) 電話:0823-84-2261(年4回発行)

藤木



綺麗に出来ました

市原・中畑・下垣内



もうすぐお餅が焼けるよ

奥条



みんな今年も元気な1年に

岡谷



点火します!

沖之手



完成しました!

原畑



始まるよ~

中切



みんなで火をつけましょう

2018年各地区

とんどの風景 あれこれ

内海10区



高く燃え上がれ!

市迫



さあ、燃え上がれ

水尻



厳かに点火

三津口7区・8区



早朝薄暗いなか、炎が輝きます

内平



寒いなか集まりました

日之浦



寒いけど楽しいな

跡条



美味しいトン汁作りましょう!

中央ハイツ



餅つき頑張ってます

女子畑



イエーイ!

やすうら 記憶遺産

山本譲翁の残した 350 枚の風物画でたどる
安浦・暮らしの記憶



菰（こも）編み風景 制作:1975（昭和 50）年 10 月 30 日／大正・昭和初期の自身の体験に基づく

春です。東に遠くかすむのは飯野山。麦畑の広がる農家の庭先で、子どもたちが〈こも編み〉をしています。明治・大正頃の光景です。

こも編みは、原始的な編み物の技術です。材料は稲わらです。こも編みで編んだものを筒状にすれば、ものを詰めて運んだり保存できる、便利なものになりました。米を入れる米俵として多く利用されました。

さて、この頃の安浦では米俵のほか、肥料用の石灰を入れる〈石灰こも〉の需要がありました。石灰こもに、石灰をたっぷり詰め船で様々な土地に出荷していたのです。こも編みは子どもや老人の仕事で、売ってお金を得ました。そのお金を貯めて春のお祭りに出かけるのが当時の子どもの楽しみでした。

麦の刈り取りが終わったら、今度は綿を植えます。内海では近世初期から綿花栽培が始まり、女性たちは自家製の綿布を織っていました。編む、組む、織る、手仕事の知恵を持って人々が暮らしていた、安浦の楽しい春です。

安浦地域博物館整備構想



地域資源
の
玉手箱！

安浦を描いた350枚の絵で地域博物館構想！

現在TANTOでは『やすうら記憶遺産』として、先人たちの生き生きとした暮らしを描いた山本譲さんの絵を紹介しています。安浦まちづくり協議会では次年度から、この絵を中心として地域博物館整備構想を立ち上げ、安浦がまるごと博物館！になる魅力的な地域づくりを目指して様々な活動をスタートします。

おでかけ情報

3月	おしゃべりサロン	毎週（火・木・金）10：00～15：00	安登駅前駐輪場 2 階
	河津桜	開花中	野呂川河口（実成新開）
4月	おしゃべりサロン	毎週（火・木・金）10：00～15：00	安登駅前駐輪場 2 階
	蔵まつり	4/8（日）10：00～15：00	盛川酒造
	ストレッチング教室	4/10（火）10：00～11：30	安浦保健出張所
	さわやかクッキング	4/13（金）10：00～12：30	安浦保健出張所（参加費 400 円）
	シアター（映写会）等	（第 3 土）10：00～12：00	安登駅前駐輪場 2 階
	やすうらものがたり	4/27（金）18：00～21：30	安浦まちづくりセンター（締切 4/20）
5月	稚児明神祭	4/29（日）8：30 頃乗船	安浦シーサイドゴルフの側（雨天中止の場合もあり）

5月	おしゃべりサロン	毎週（火・木・金）10：00～15：00	安登駅前駐輪場 2 階
	ストレッチング教室	5/8（火）10：00～11：30	安浦保健出張所
	さわやかクッキング	5/11（金）10：00～12：30	安浦保健出張所（参加費 400 円）
	シアター（映写会）等	（第 3 土）10：00～12：00	安登駅前駐輪場 2 階
	やすうらものがたり	5/25（金）18：00～21：30	安浦まちづくりセンター（締切 4/20）

6月	おしゃべりサロン	毎週（火・木・金）10：00～15：00	安登駅前駐輪場 2 階
	さわやかクッキング	6/8（金）10：00～12：30	安浦保健出張所（参加費 400 円）
	柏島大祭	6/9・10（土・日）8：00～21：00/9：00～14：00	
	ストレッチング教室	6/12（火）10：00～11：30	安浦保健出張所
7月	シアター（映写会）等	（第 3 土）10：00～12：00	安登駅前駐輪場 2 階



森本ストアー

呉市安浦町女子畑 1408-5 TEL84 - 3830



営業 月～土 9:30～18:00
店休 日・祝



初代 シズエさん



2代目 一朗さん



政子さん

昭和47年森本さん一家は、前「高田商店」（昭和10年後半～昭和46年）から店を引継ぎ三津口から引っ越して来ました。

市営や芸陽バスが走るメイン道路に店を構え、祖母シズエさん（当時50代）を中心に雑貨・食料品を扱う店として繁盛しました。

平成9年孫の一郎さんが母政子さんを助けて「森本ストアー」の店主となりました。

仕入れは、呉市場からは一郎さん、広方面は政子さんが担当し、配達・店番とも親子で仲良く分担しています。人気商品は、一郎さんが阿賀漁協から仕入れて来る飛び切り新鮮な魚と、蒲刈特産の柑橘類です。特に魚は地元のお得意さんから評判で予約電話がひっきりなしにかかります。てきぱきとさばくのは政子さんの役目です。

一郎さんは遠くの仕入れや配達いっさいを引き受ける孝行息子です。

「県道バイパスが開通し、車も客も減ったんよ、でも元気なうちは頑張るつもり。」と笑顔で明るい政子さんです。

写真でみる今と昔

安浦アーカイブ

時代とともに様変わりする景色や人々の暮らし、懐かしい風景をご覧ください。

中切 郷地区



昭和30年の写真、野呂山側から向山方面を撮影。中央にJR呉線が見え、小さい谷間でも田畑が作られていた。民家では藁屋根も見られる。



民家が増え、山間～谷筋の田畑は荒れている。旧185号線沿いも市街化が進み、バイパス道路が建設され、中切地区がその出入口となった。

中央1丁目



昭和10年代後半の写真、駅前旧185号線付近と思われる。三津口青年団らによる道路修理風景。当時は各種団体による奉仕活動が盛んであった。



現在 山の稜線は同じであるが、駅前付近は民家・商店が密集して市街化している。国道185号線は手前からバイパス化されました。